

# 岡山県立津山商業高等学校自動販売機設置事業者公募仕様書

## 1 公募物件

設置区分	物件番号	所在地	設置場所	設置場所の寸法		販売種類	位置図
				幅	奥行		
A	1	津山市 山北 531	第2棟1階中央通路 (購買横) 中央	2.4m 以内	1.0m 以内	清涼飲料水 (ペットボトル・ボトル缶)	①
	2					清涼飲料水 (ペットボトル・ボトル缶)	
B	3	〃	第2棟1階中央通路 (購買横) 西側	0.9m 以内	1.0m 以内	パン等の軽食 (カップラーメンは不可)	②

※ 自動販売機の機種によっては、商品の補充やメンテナンスのための扉の開閉等に支障がある場合もあるため、それらに支障がないか、また、電気の子メーターを設置するスペースについても事前に設置場所の確認を行うこと。

## 2 設置条件

- (1) 自動販売機を設置する権利を第三者に譲渡又は転貸してはならないこと。
- (2) 設置区分Aについての販売品は、物件番号1及び2がそれぞれ10種類以上、合わせて20種類以上とすること。ただし、冬季(11月～3月)については、それぞれ5種類以上、合わせて10種類以上とする。また、ペットボトルは500ml容器を含むこと。
- (3) 設置区分Aの販売品目は、お茶、水、炭酸飲料、ジュース、コーヒー、紅茶等の清涼飲料水とし、酒類の販売は行わないこととし、炭酸飲料は全種類の1/3を超えないこと。  
また、冬季(11月～3月)において温かい飲料を5割以上販売すること。
- (4) 設置区分Bの販売品目は、パン等の軽食とし、カップラーメンの販売は行わないこととする。
- (5) 使用済容器回収ボックスの設置  
設置区分Aについて、設置場所の寸法外の所定の位置内に販売する飲料(ペットボトル・ボトル缶)の使用済容器の回収ボックスを物件番号ごとに1基ずつ設置すること。  
使用済容器回収ボックスは、可能な限り新機能リサイクルボックス(飲料空容器以外の異物混入を削減するため、投入口を下向きにしたリサイクルボックス)の設置に努めること。  
設置区分Bについて、設置場所の寸法外の所定の位置内に販売するパン等の包装袋類の回収ボックスを設置すること。  
設置事業者が複数になった場合は設置事業者間で協議し、サイズなど調整すること。
- (6) 自動販売機の規格等
  - ① 外色は原則、白色無地が望ましいが、公序良俗に反しないものであれば可能とする。
  - ② 可能な限りユニバーサルデザインであること。
  - ③ 原則としてノンフロン対応機であること。ただし、設置機種によりノンフロン対応機の普及がないものについては、可能な限り環境に配慮したものとする。
  - ④ 自動販売機の節電に取り組むこと。照明については、午後8時から翌朝午前8時の間、タイマーによる電気調節を行うこと。
  - ⑤ 転倒防止対策を施すこと。なお、設置場所の寸法には、自動販売機脚部に設置する転倒防止用鉄板等の寸法は含まないこととする。

- (7) 設置に当たり、自動販売機及び回収ボックス等について庁舎管理上必要な指導をしたときは、それに従うこと。

### 3 売上手数料率

設置区分Aの売上手数料率は、10.0%以上とする。

設置区分Bの売上手数料率は、5.0%以上とする。

- 4 販売価格 ペットボトル・ボトル缶 … メーカー希望価格から20円を引いた価格とする。  
パン等の軽食 … メーカー希望価格から10円を引いた価格とする。

### 5 行政財産使用許可

#### (1) 使用許可申請の手続き

設置事業者に決定した者は、令和8年3月19日（木）までに、行政財産使用許可申請に係る書類を提出すること。

ア 提出書類 ※提出部数は各1通

(ア) 教育財産使用許可申請書（岡山県教育財産管理規則 様式第9号）

(イ) 設置場所の自動販売機、回収ボックス及び自動販売機脚部に設置する転倒防止用鉄板等の投影面積の分かる図面

(ウ) 自動販売機の管理関係証明書（様式第6号）

(エ) 自動販売機の設置管理、商品補充等を行う者が設置事業者と異なる場合は、当該業務に関して両者間で締結された委託契約書又は協定書等の書類の写し

イ 手続きに関する一切の費用については、設置事業者の負担とする。

#### (2) 使用許可の期間

使用許可の期間は令和8年4月1日から令和9年3月31日の1年間とする。ただし、設置事業者の行政財産の使用状況を勘案し、行政財産の用途又は目的を妨げない限度において自動販売機の使用を許可することができると岡山県が判断した場合は、令和9年4月1日から2年を限度に、引き続き使用許可を行う。

なお、使用許可の期間の満了前でも、岡山県が行政財産の用途又は目的のため必要が生じた場合は、使用許可を取り消すことがある。

また、教育財産使用許可書に記載された条件を遵守すること。

そして、県が行う工事等庁舎管理上の理由で自動販売機移設等の必要が生じた場合は、岡山県が指定した期日までに、設置者の負担により対応するものとする。

#### (3) 使用料

使用料は、自動販売機、回収ボックス及び自動販売機脚部に設置する転倒防止用鉄板等の投影面積により岡山県行政財産使用料徴収条例（昭和39年条例第20号）の定めるところにより算定した額をもって行政財産使用料とする。

なお、使用料は、年度ごとに岡山県が発行する納入通知書により、岡山県が指定する期日までに全額納入すること。

※参考 令和7年度の1㎡当たりの行政財産使用料（年額）

本館第2棟1階：約3,236円／年

なお、条例の改正等により額が変更する場合がある。

### 6 売上手数料

(1) 売上手数料は、各自動販売機に係る各月ごとの売上合計額に手数料率を乗じた額とする。

(2) 設置事業者は、毎月、翌月10日までに自動販売機ごとの売上単価、売上本数、売上合計額及び売上手数料が確認できる実績報告書を作成し、岡山県立津山商業高等学校に提出すること。

- (3) 売上手数料は、四半期ごとに岡山県が発行する納入通知書により、岡山県が指定する期日までに全額納入すること。

## 7 その他必要経費等

- (1) 自動販売機の設置及び撤去に要する工事費、移転費等一切の費用は設置事業者の負担とする。
- (2) 自動販売機の運転に必要な光熱水費は、全額を設置事業者の負担とし、四半期ごとに岡山県が発行する納入通知書により、岡山県が指定する期日までに全額納入すること。

なお、電気使用料の額は、自動販売機設置事業者が設置する子メーターの指示値により計測した電気使用量と、岡山県が契約する電気事業者の電気供給約款及び岡山県と電気事業者との契約に規定する電気料金単価により計算した額とする。

## 8 使用条件

使用期間前及び使用期間中は、次のことを遵守すること。

- (1) 使用許可の条件を遵守し、行政財産使用料を岡山県が指定する期日までに全額納入すること。
- (2) 自動販売機を設置する権利を第三者に譲渡又は転貸してはならないこと。
- (3) 販売品の搬入、使用済容器等廃棄物の搬出時間及び経路、駐車位置については、岡山県の指示に従うこと。（工事等庁舎管理上の理由で変動する場合がある。）

なお、設置事業者が複数となった場合は、岡山県立津山商業高等学校が指定した場所・時間の範囲内において設置事業者間で協議し決定することとする。

- (4) 販売品目は、設置区分Aにおいては清涼飲料水のみとし、酒類の販売は行わないこと。また、設置区分Bにおいてはパン等の軽食のみとし、カップラーメンの販売は行わないこと。

## 9 維持管理責任

次のことを遵守すること。

- (1) 商品補充及び金銭管理など自動販売機の維持管理については、設置事業者が行うこと。また、商品の賞味期限に注意するとともに、在庫及び補充管理を適切に行うこと。

なお、自動販売機の所有、設置管理、故障発生時等の対応、商品の補充及び売上代金の回収等を他者に行わせようとする場合は、自動販売機を設置しようとする日までに、当該他者との間で委託契約又は協定等を締結していなければならないものとする。その場合にあっては、設置事業者として決定を受けた後、当該委託契約書又は協定書等の書類の写しを岡山県に提出すること。

- (2) 回収ボックス内にある使用済容器は、設置事業者の責任で適切に回収及びリサイクルをすること。
- (3) 衛生管理及び感染症対策については、関係法令等の遵守及び徹底を図るとともに、関係機関等への届出及び検査等が必要な場合は遅滞なく手続き等を行うこと。
- (4) 自動販売機の設置に当たっては、据付面を十分に確認した上で安全に設置すること。
- (5) 自動販売機の故障、問い合わせ及び苦情等については、設置事業者の責任において対応すること。また、自動販売機に故障時等の連絡先を明記すること。

## 10 原状回復

設置事業者は、許可期間が満了又は許可が取り消された場合は、速やかに原状回復すること。  
なお、原状回復に際し、設置事業者は一切の補償を岡山県に請求することはできない。

## 11 設置事業者の決定の取消し

次のいずれかに該当する場合は、設置事業者としての決定を取り消す。

- (1) 正当な理由なくして、指定する期日までに使用許可の手続きに応じなかった場合
- (2) 設置事業者が公募に参加できる者の資格等に該当しなくなった場合
- (3) 岡山県に対して報告をせず又は虚偽の報告をした場合

(4) その他、岡山県が必要と認めた場合

## 12 参考データ

(1) 岡山県立津山商業高等学校の職員・生徒数（令和8年1月現在）

職員数	約 50名
生徒数	約 480名

(2) 既設自動販売機年間売上本数（令和6年度実績）

物件番号	販売種類	販売価格	売上本数	売上額
1	清涼飲料水 (ペットボトル)	(令和6年10月まで) 110円・120円 140円・150円 (令和6年11月から) 120円・130円 150円・160円	2,639本	344,570円
2	〃 (ペットボトル)	(令和6年10月まで) 110円・120円 140円・150円 (令和6年11月から) 110円・120円 130円・150円	3,566本	451,490円
3	〃 (ペットボトル)	(令和6年10月まで) 110円・120円・140円 150円・160円 (令和6年11月から) 110円・130円・140円 150円・160円	3,673本	484,640円
4	〃 (ペットボトル)	(令和6年10月まで) 110円・120円 140円 (令和6年11月から) 120円・130円 140円	2,469本	341,900円

※上記物件番号1及び2については今回公募を行っていないが、参考値として記載している。

※上記物件番号3及び4が、本仕様書「1 公募物件」の物件番号1及び2にそれぞれ対応する。

※過去に自動販売機によるパン等の軽食の販売実績は無いため、上記実績には記載していない。

## 13 自動販売機設置図

別紙のとおり

14 その他 使用許可の手続きに関する一切の費用については、設置事業者の負担とする。

自動販売機設置位置図



